

申請パターン別 助成上限額と自己負担額 例

1. 急速充電設備を申請する場合：p 2～5
2. 普通充電設備を申請する場合：p 6～9
3. V2H充放電設備を申請する場合：p 10～13

・急速充電設備・普通充電設備等の助成対象設備（リンク先：次世代自動車振興センター）

http://www.cev-pc.or.jp/hojo/juden_pdf/r03/r03_juden_jougen_meigara.pdf

・V2H充放電設備の助成対象設備（リンク先：次世代自動車振興センター）

http://www.cev-pc.or.jp/hojo/pdf/r03/R3_v2h_meigaragotojougen.pdf

※国補助金：充電設備に関する国のすべての補助金のこと

※充電インフラ補助金：次世代自動車振興センターの充電インフラ補助金のこと

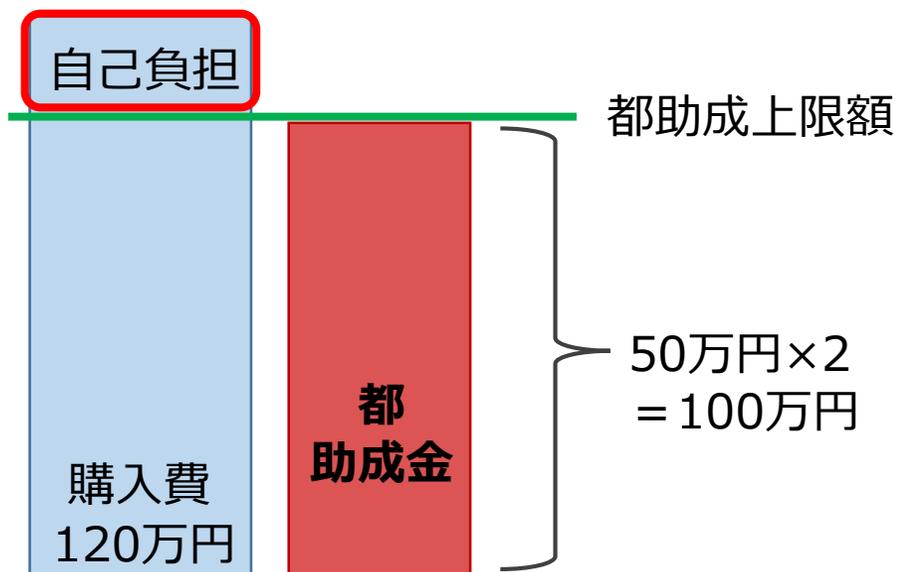
※V2H補助金：CEV補助金のV2H充放電設備補助金のこと

1 - 1. 急速充電設備を申請（充電設備購入費）

【急速充電設備を120万円（税抜）で購入し、
国補助金の交付上限額（目的地）が50万円】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

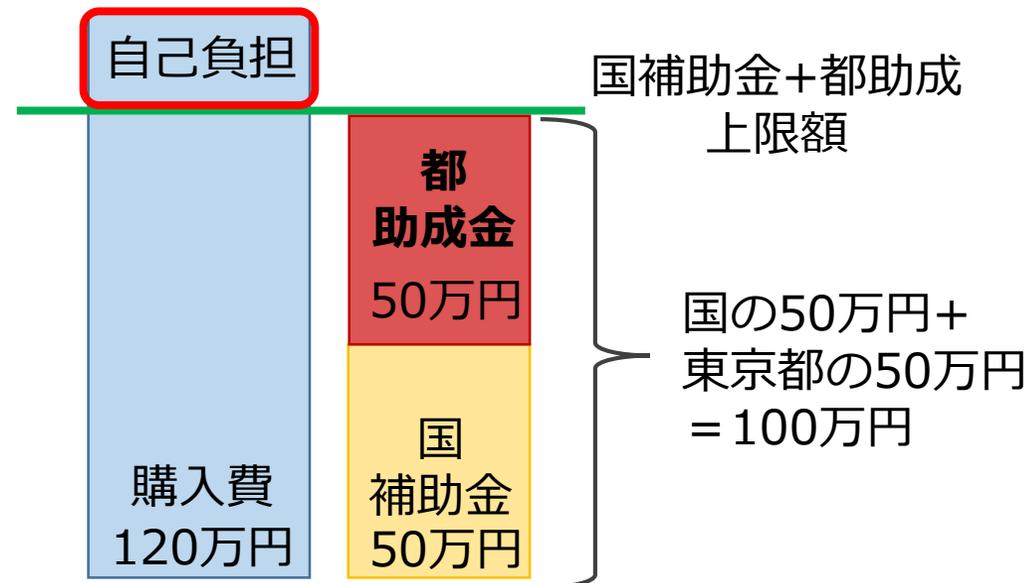
国補助金の交付上限額の**2倍の金額**が
東京都の助成上限額



⇒東京都の助成金は**100万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

国補助金の交付上限額と**同じ金額**が
東京都の助成上限額



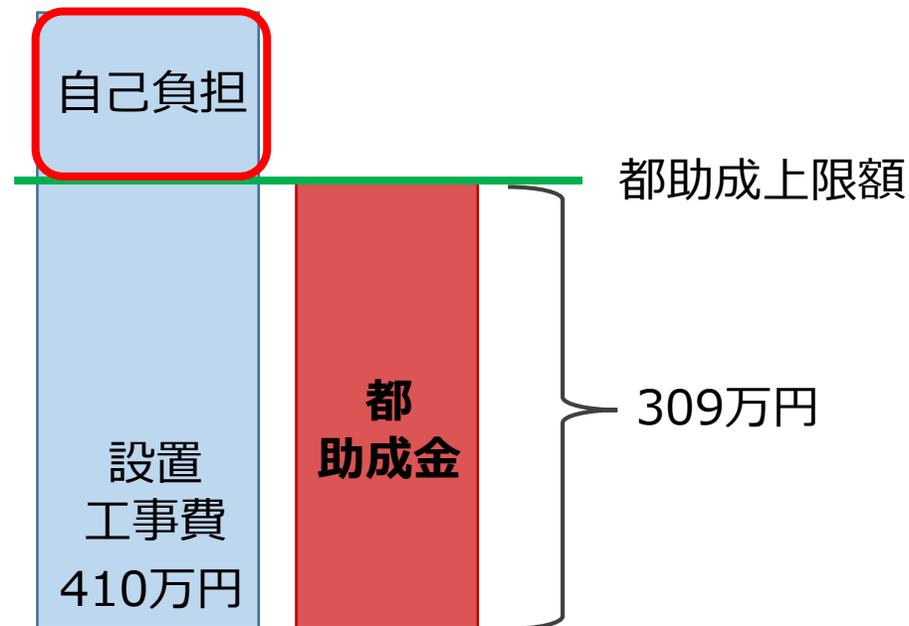
⇒東京都の助成金は**50万円**

1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が410万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**309万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の助成金は**309万円**

1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が410万円（税抜きか全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

309万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：国補助金が**350万円**の場合

設置工事費から国補助金を差し引いた額

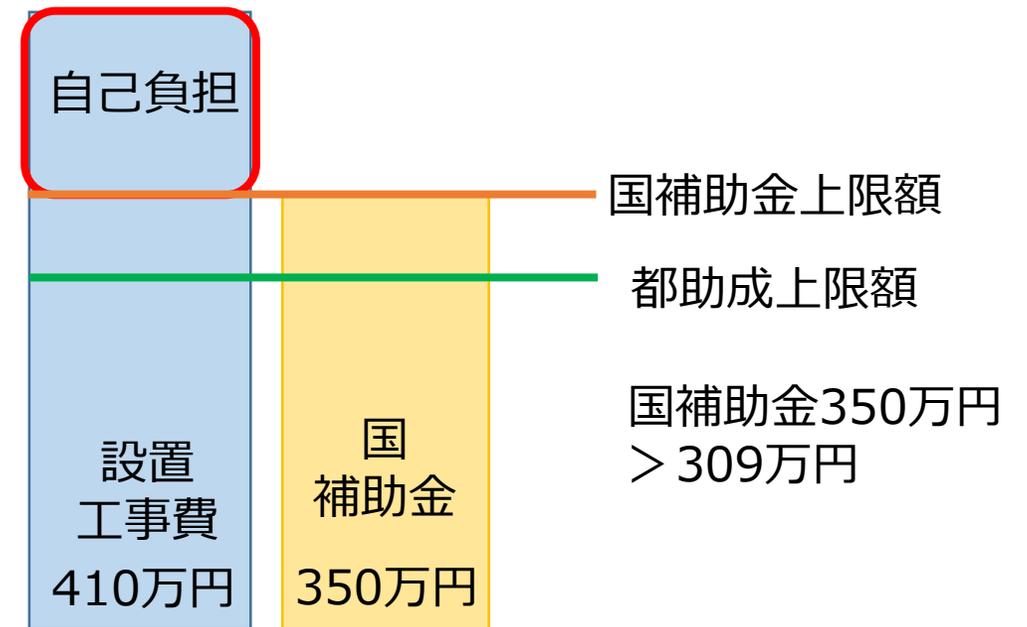
$$410\text{万円} - 350\text{万円} = 60\text{万円}$$

309万円から国補助金を差し引いた額

$$309\text{万円} - 350\text{万円} = -41\text{万円} = 0\text{円}$$

⇒東京都の助成金は**“なし”**

充電設備購入費のみ申請できます。



1 - 2. 急速充電設備を申請（設置工事費）

【急速充電設備の設置工事費が410万円（税抜きかつ助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

309万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：国補助金が**250万円**の場合

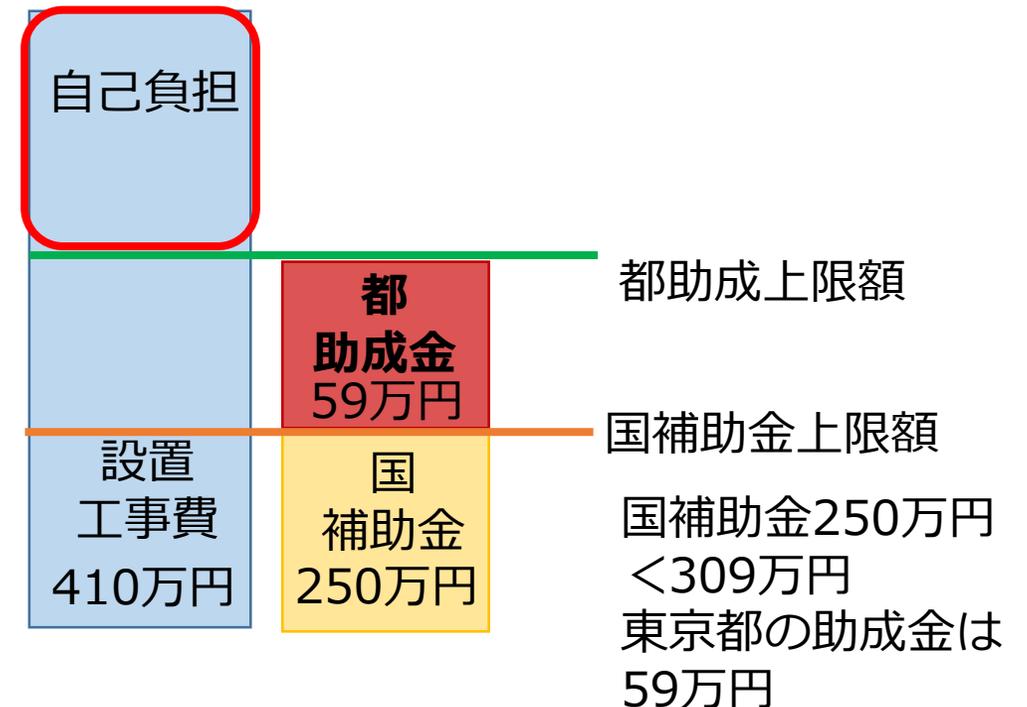
設置工事費から国補助金を差し引いた額

$410\text{万円} - 250\text{万円} = 160\text{万円}$

309万円から国補助金を差し引いた額

$309\text{万円} - 250\text{万円} = 59\text{万円}$

⇒東京都の設置工事費は**59万円**

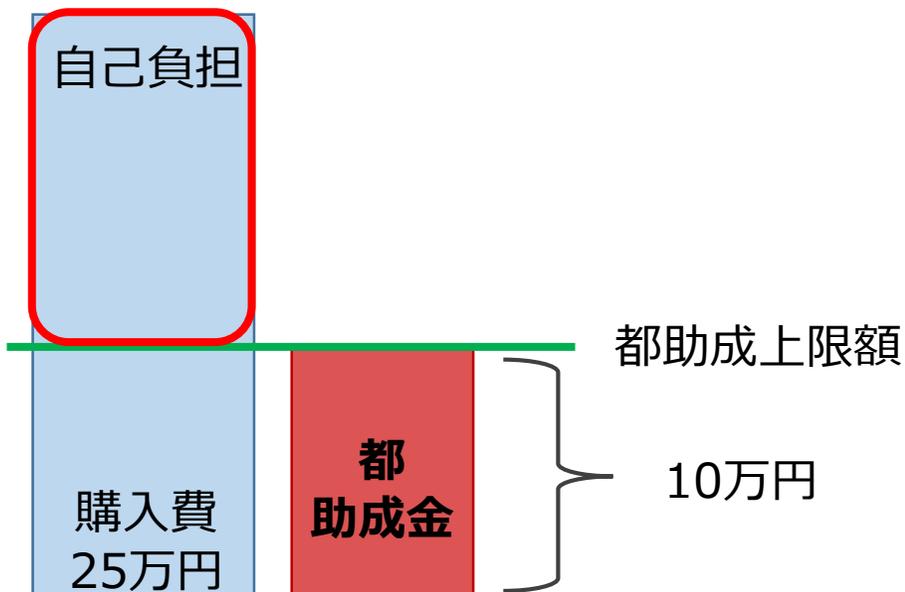


2-1. 普通充電設備を申請（充電設備購入費）

【普通充電設備を25万円（税抜）で購入し、
国補助金の交付上限額（基礎）が10万円の場合】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

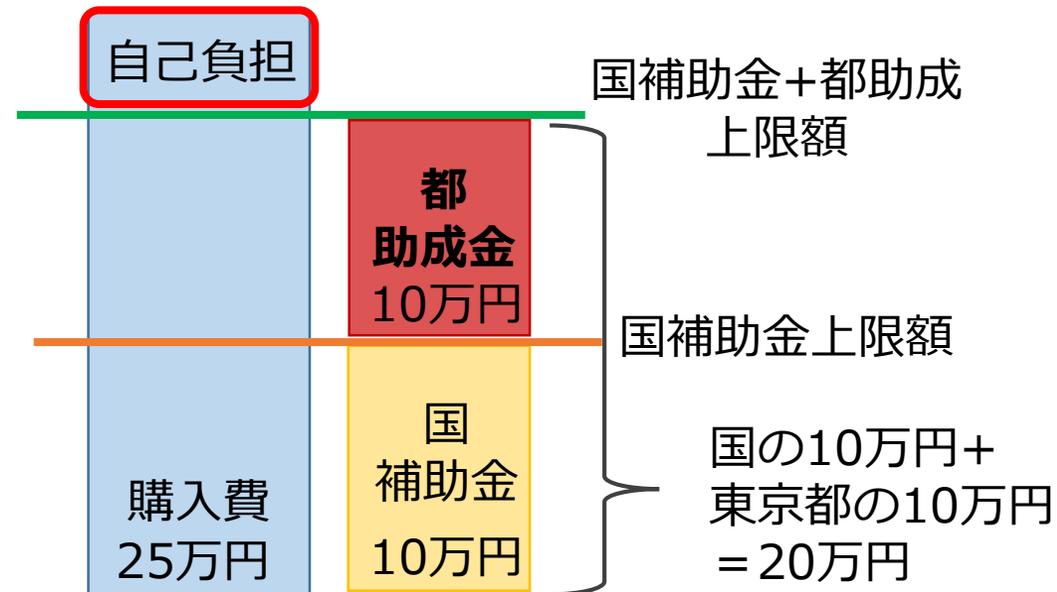
国補助金の交付上限額と同じ金額が
東京都の助成上限額



⇒東京都の助成金は**10万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

国補助金の交付上限額と同じ金額が
東京都の助成上限額



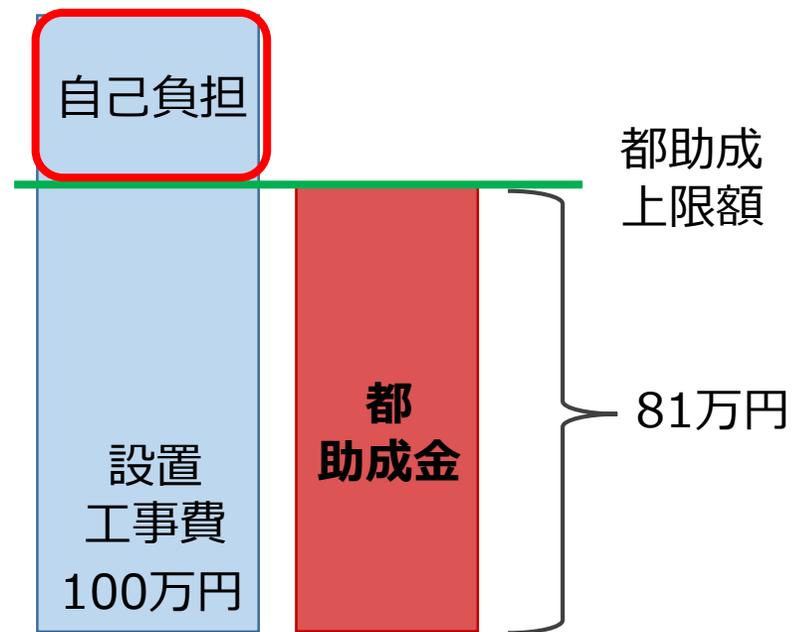
⇒東京都の助成金は**10万円**

2 - 2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**81万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の助成金は**81万円**

2-2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

81万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：国補助金が**90万円**の場合

設置工事費から国補助金を差し引いた額

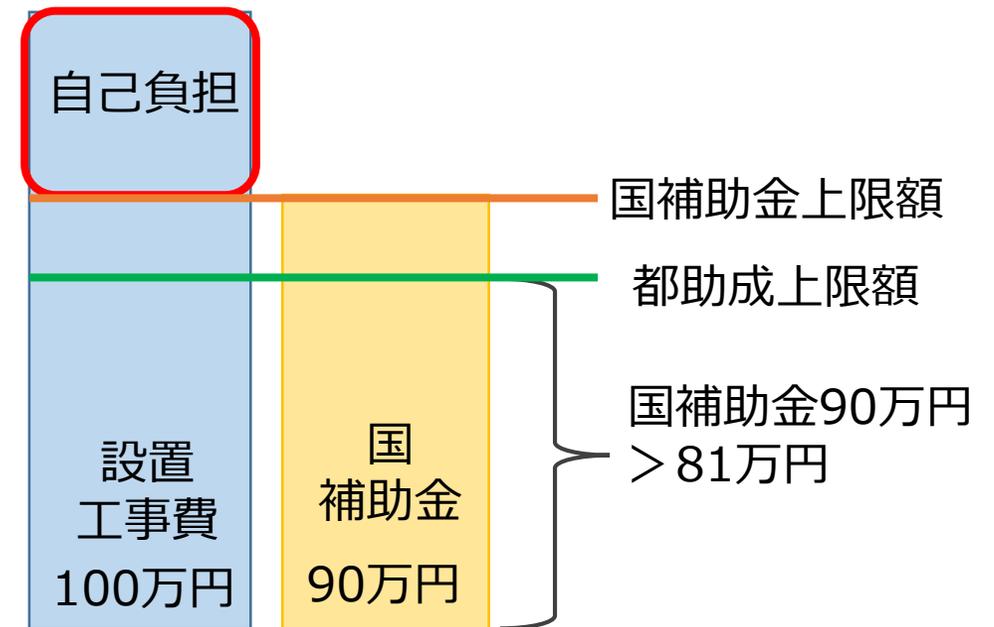
$100\text{万円} - 90\text{万円} = 10\text{万円}$

81万円から国補助金を差し引いた額

$81\text{万円} - 90\text{万円} = -9\text{万円} = 0\text{円}$

⇒東京都の助成金は**“なし”**

充電設備購入費のみ申請できます。



2-2. 普通充電設備を申請（設置工事費）

【普通充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

81万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：国補助金が**50万円**の場合

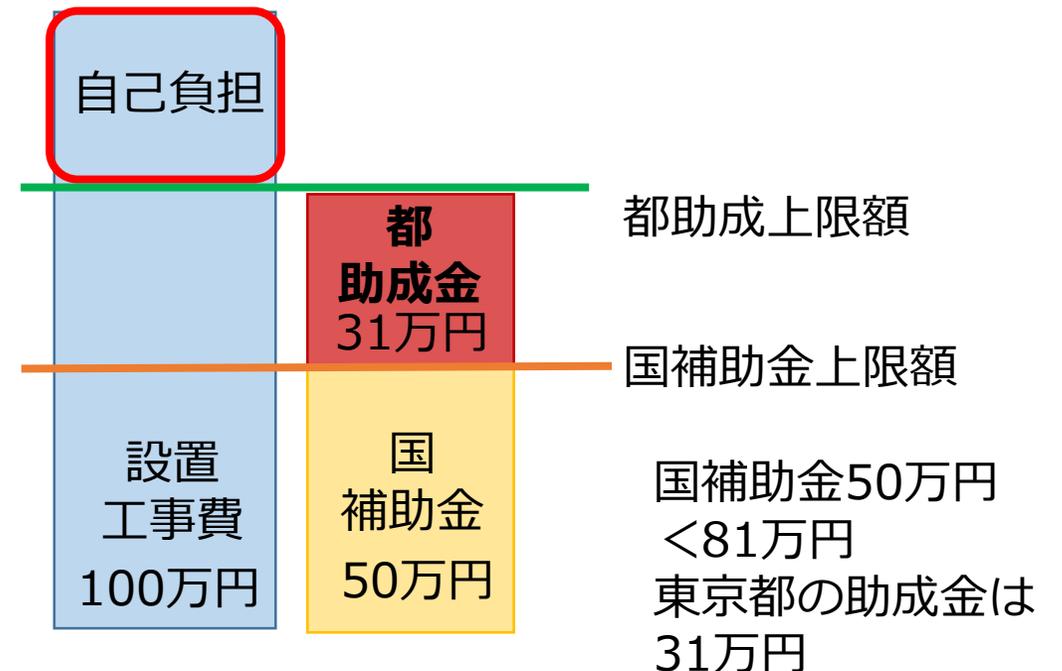
設置工事費から国補助金を差し引いた額

$100\text{万円} - 50\text{万円} = 50\text{万円}$

81万円から国補助金を差し引いた額

$81\text{万円} - 50\text{万円} = 31\text{万円}$

⇒東京都の助成金は**31万円**

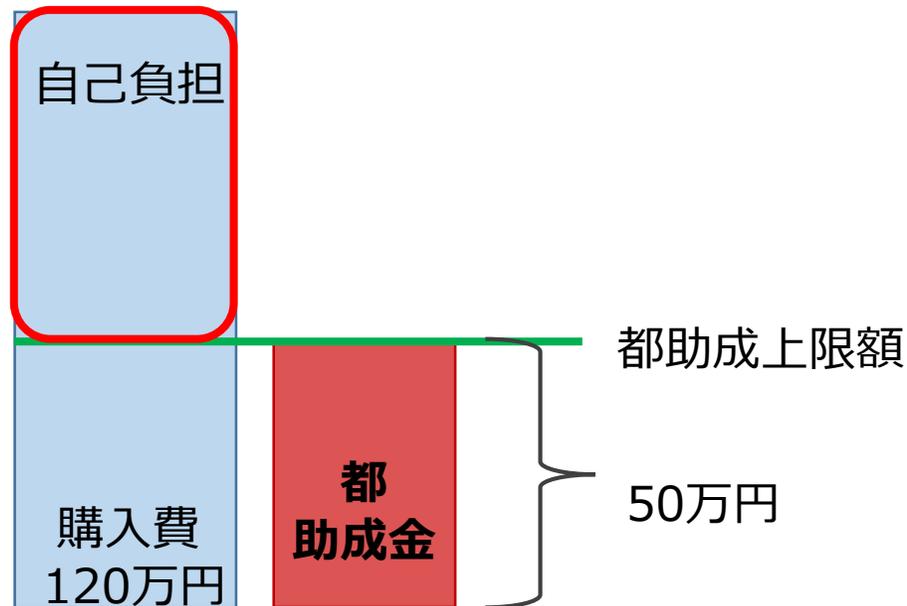


3 - 1. V2H充放電設備を申請（充電設備購入費）

【V2H充放電設備を120万円（税抜）で購入し、V2H補助金の交付額が50万円の場合】

①事前申請の場合（東京都のみ申請）

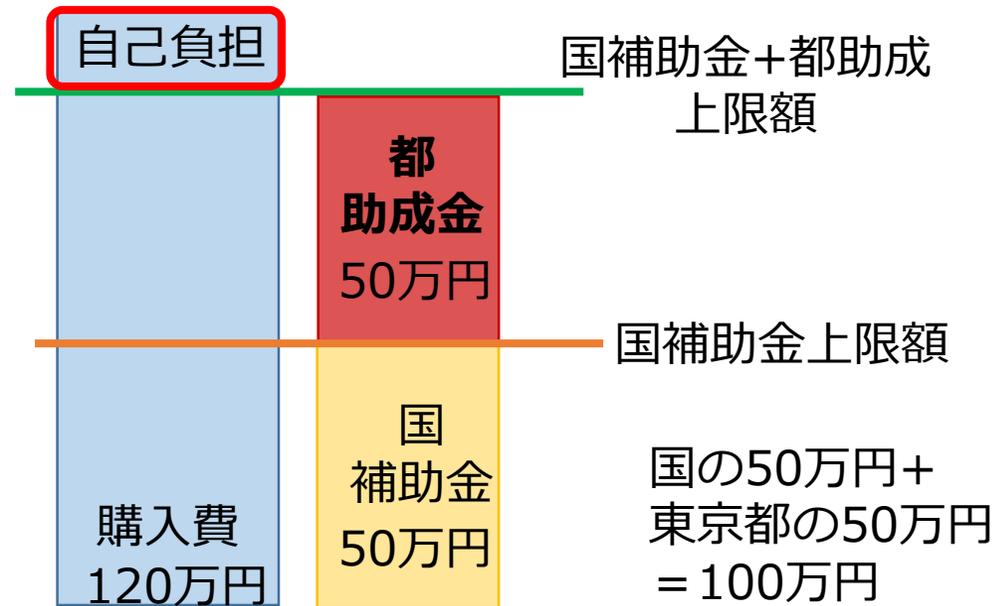
V2H補助金の交付額と同じ金額が
東京都の助成上限額



⇒東京都の助成金は**50万円**

②事後申請の場合（国と東京都どちらも申請）

V2H補助金の交付額と同じ金額が
東京都の助成上限額



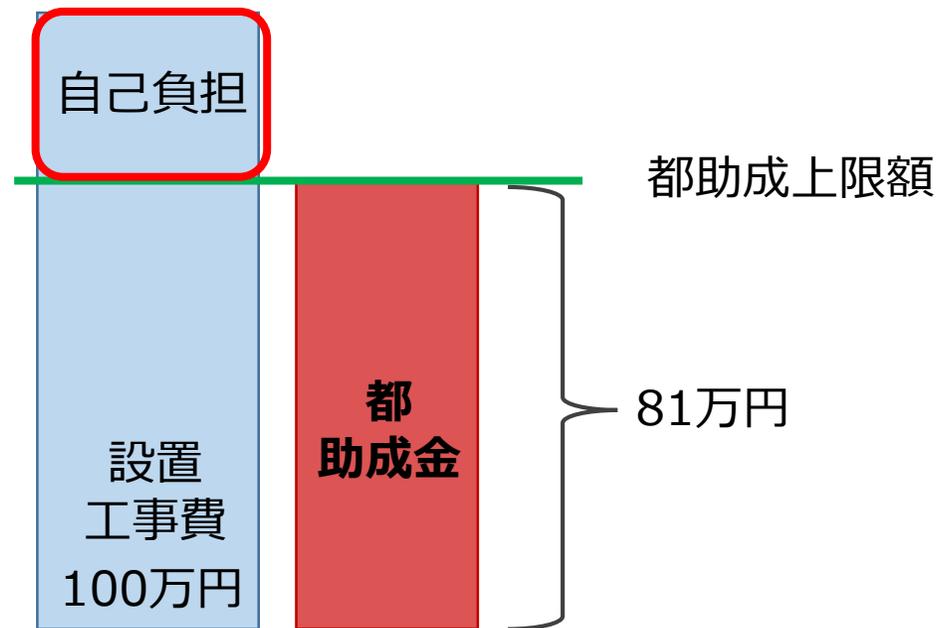
⇒東京都の助成金は**50万円**

3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電充電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

①事前申請の場合（**東京都のみ申請**）

助成対象経費のうち、**81万円まで**が東京都の助成金額



⇒東京都の助成金は**81万円**

3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

81万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース1：国補助金が**90万円**の場合

設置工事費から国補助金を差し引いた額

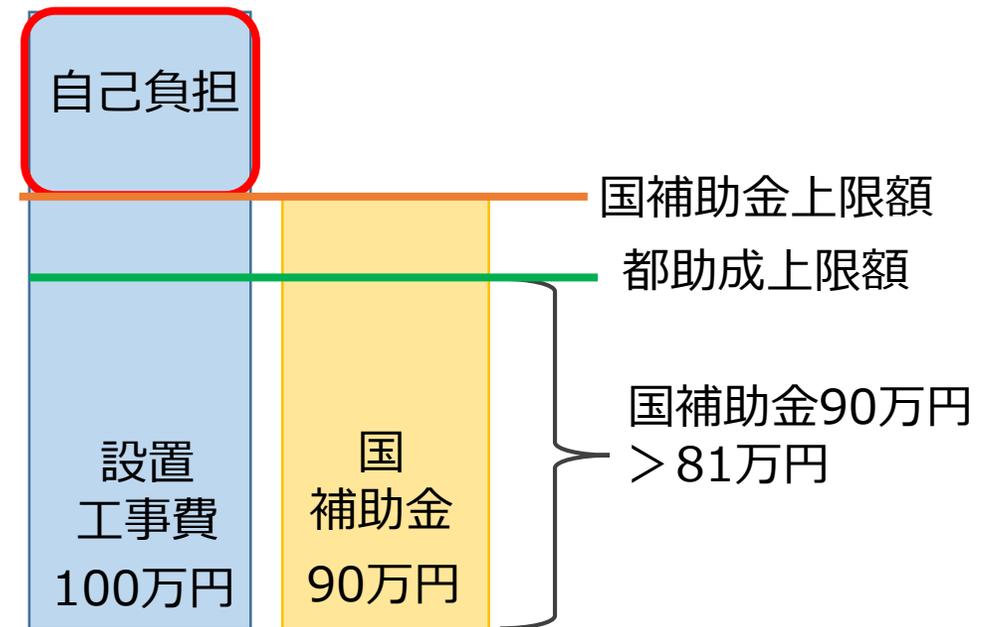
$100\text{万円} - 90\text{万円} = 10\text{万円}$

81万円から国補助金を差し引いた額

$81\text{万円} - 90\text{万円} = -9\text{万円} = 0\text{円}$

⇒東京都の助成金は**“なし”**

充電設備購入費のみ申請できます。



3 - 2. V2H充放電設備を申請（設置工事費）

【V2H充放電設備の設置工事費が100万円（税抜きかつ全て助成対象経費）】

②事後申請の場合（**国と東京都どちらも申請**）

工事費から国補助金を差し引いた額または

81万円から国補助金を差し引いた額いずれか**低い方**が東京都の助成上限額

ケース2：国補助金が**50万円**の場合

設置工事費から国補助金を差し引いた額

$100\text{万円} - 50\text{万円} = 50\text{万円}$

81万円から国補助金を差し引いた額

$81\text{万円} - 50\text{万円} = 31\text{万円}$

⇒東京都の助成金は**31万円**

